

令和3年度安田中学校グランドデザイン

○ねらいに即した多様な指導方法を取り入れることを通した「考え、議論する道徳」の推進
○関係機関との連携機能を生かした生徒指導の推進

教育目標
すすんで学習に取り組む生徒
思いやりのある心豊かな生徒
けじめをつけて生活できる生徒

<3つの指導の重点>
●「命を大切に」指導の徹底
●いじめをしない許さない意識の醸成
●当たり前のことが当たり前に行える生徒指導

『心の教育』はすべての教育活動に優先する

【大切にしたい5つの心】
正義の心 思いやりの心 あきらめない心 感謝の心 素直な心

【目指す学校像】
すべての生徒が笑顔で輝き、誇りを持てる学校
【目指す生徒像】
郷土（安田）に誇りをもち、たくましく優しい心で、主体的に行動ができる生徒
【目指す教師像】
生徒、保護者の心に寄り添い、常に学び進化できる教師

生徒の実態

- ・明るく人懐こい生徒が多い。
- ・学力向上に向けて努力している。
- ・リーダーを中心とした自治的な活動が展開されている。
- ・部活動が盛んで活気にあふれている。
- ・集団生活においてサポートが必要な生徒がいる。

阿賀野市の教育の基本理念

ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる

教育

<育てたい資質・能力>

- 自立・・・主体的に判断し、粘り強く問題解決に取り組む力
- 協働・・・多様な人々と対話し、問題を解決する力
- 創造・・・新しい価値を生み出す力

学ぶ安中【知】

こころの安中【徳】

鍛える安中【体】

課題	自分の変容を自覚し、成長し続ける学び	自己有用感の向上 【将来への夢や希望をもち、人の役に立つ】	生きる力を支える健康・体力
目標とする成果 (達成目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●「学習課題に対して、分かるまで取り組もうとしている」が80%以上になる。 ●「授業の終わりに、分かったことと分らなかったことがはっきりしている」の項目で、肯定的な評価が80%以上になる。 ●家庭学習強調習慣で家庭学習時間達成率がすべての学年で80%以上となる。 ●生徒アンケートで「家庭学習をプランニングタイムで立てた計画に基づき学習に取り組んでいる」の肯定的評価が80%以上になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒アンケートで「郷土【安田】に誇りをもち、主体的に行動ができている（授業・委員会・部活動・清掃・奉仕活動）」の肯定的評価が85%以上になる。 ●「将来に夢や希望をもち、人の役に立っている」の肯定的評価が85%以上になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体力テストの結果が、全学年全種目で県、全国の平均を上回る。 ●生活リズムチェックシート（年間2回実施）の「メディア時間」を120分以内にする生徒が80%以上になる。
目標を達成するための教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」の授業を行う。 ●毎日「終学活+5分のプランニングタイム」を設定し、家庭学習のやり方を支援する。 ●「課題、まとめ」プレートを活用した授業を行う。 ●授業で「振り返り」場面を位置付けた授業を行う。 ●家庭学習強調習慣の事前指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「こころの教育」をテーマに講演会を実施し、生徒の心の活性化を図る。 ●「人の役に立つ」地域貢献活動・ボランティア活動を実施する。 ●活動ごとに成果や価値を自覚させるための「振り返りの場」を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体力の実態を把握するため、体力テストを全種目実施する。 ●バランスのとれた体力向上のため、保健体育の授業では体力向上の取組（種目に応じた補強運動）を行う。 ●生活習慣改善強調週間における、全校または学年の事前指導を行う。
教職員による運営活動	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭学習強調習慣での重点的な指導内容についての打ち合わせを毎回実施する。 ●プランニングタイムの成果と課題を明らかにし、改善策を決める会議を、年間2回行う。 ●授業改善に関する職員研修を年間2回行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●活動を通して育てる生徒の力や、振り返りの場の設定について共通理解を図る打ち合わせを活動ごとに実施する。 ●アンケートや教育相談を年3回以上（毎学期）実施し、きめ細やかな指導を進める。 ●悩みを抱える生徒について、複数の職員に相談したり、スクールカウンセラーや関係機関と連携したりするなど、適切な対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体力テストを分析し、生徒の健康・体力面での課題を明確にして、改善策を講じた授業を計画した。 ●メディアと家庭学習を含むタイムマネジメントを向上させるため、長期休業前（各学期末）に、全職員で共通理解を図る。 ●生徒・保護者の意識を高めるために、食生活・睡眠・メディアなどの生活習慣の改善を促す便りを発行する。

学校評価システムを活かした学校運営

職員研修の充実

- 1 新学習指導要領の趣旨を生かした授業改善
- 2 防災教育、平和教育及び人権教育、同和教育の研修
- 3 豊かな心をはぐくむ道徳授業の充実を目指す研修
- 4 人間関係づくり等の社会性育成に対応する研修
- 5 教職員の非違行為撲滅に向けた研修

【 ACTION : 改善 】

- ・課題の共通認識
- ・各分掌で課題解決の方策を検討
- ・生徒、保護者へのアンケート結果の報告
- ・指導計画の改善

【 PLAN : 計画 】

- ・学校教育目標、重点の設定
- ・学校運営方針の設定
- ・教育課程の編成
- ・指導計画の作成

【 目標 】

生徒、保護者、地域住民の意見
要望を踏まえた目標の設定

【 CHECK : 評価 】

- ・目標達成度の評価
- ・生徒、保護者、学校関係者、地域住民の意見、評価（生徒、保護者へのアンケートの実施）
- ・学校関係者評価の実施

【 DO : 実施 】

- ・学校全体の教育実践
- ・積極的な情報発信と公開
- ・目標達成に向けた主体的な取組
- ・授業改善等の取組
- ・学習習慣化の指導、学級指導

地域と学校の連携を推進する会

- 保護者への報告・連絡・相談・確認の徹底
- 学校だより、HP、メール等による情報の提供と学校評価の公表
- 保護者アンケートの実施
- 地域と学校の連携を推進する会の開催
- 同窓会、安田地区青少年健全育成会との連携
- 校区内小学校との連携
- 児童相談所、サポートセンター、学警連等との連携